



平成29年8月9日

各位

会 社 名 オンコリスバイオフーマ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 浦田 泰生
(コード番号:4588)
問 合 せ 先 取 締 役 紙 谷 賢 志
経 営 管 理 担 当
(TEL.03-5472-1578)

欧州における OBP-601 (Censavudine) の 物質特許に関する特許査定のお知らせ

当社は、現在 HIV 感染症治療薬として研究開発を進めている OBP-601 (Censavudine) について、化合物に関する欧州特許出願の特許査定を受けましたので、下記の通りお知らせいたします。

OBP-601 は、HIV の複製に必須である逆転写酵素を阻害する HIV 感染症治療薬です。当社は、2006 年 6 月に、同剤の物質特許（出願／登録）を保有する米国 Yale 大学と全世界における独占的ライセンス契約を締結し、OBP-601 をパイプラインとして導入しました。

今回登録査定を受けた特許発明は、核酸系のみではなく、非逆転写酵素阻害剤 (NNRTI) の耐性ウイルスにも強い効果を示し、現在世界最大のシェアとなっているテノホビル of 耐性ウイルスにも効果を示します。同化合物は鹿児島大学難治性ウイルス病態制御研究センター、昭和大学薬学部及び Yale 大学医学部の共同研究により見いだされました。

OBP-601 は、これまでに米国にて健常男性における Phase I a 試験、及びフランスにおける感染患者に対する Phase I b/II a 試験を終了し、用法・用量設定を目的とした Phase II b 臨床試験においてエンドポイントを達成しています。なお、同試験は Bristol-Myers Squibb Co. (BMS) 主導により 17 か国 94 施設で約 300 名の HIV 感染症患者を対象に行われました。また、本特許発明は日本及び米国を含む 13 ヶ国で既に特許登録されております。

本件による本年度業績への影響はございませんが、当社は、今後も OBP-601 の開発促進を図ると共に、高い医療現場ニーズを充足することを目指し、事業活動を展開して参ります。

以上